



市政記者クラブ加盟社 各位

盛岡市遺跡の学び館第43回埋蔵文化財調査資料展「盛岡を発掘する—令和7年度調査速報—」と関連事業「令和7年度調査成果報告会」を開催します

このたび当館では、第43回埋蔵文化財調査資料展「盛岡を発掘する—令和7年度調査速報—」を開催します。本展では、今年度に当館が発掘調査した遺跡について、最新の調査成果と出土資料をいち早く紹介するものです。また、関連事業として「令和7年度調査成果報告会」を実施します。

つきましては、周知広報についてよろしくお願ひいたします。

記

- 1 名 称 第43回埋蔵文化財調査資料展「盛岡を発掘する—令和7年度調査速報—」
- 2 開催期間 令和8年2月7日（土）～5月17日（日）
- 3 場 所 盛岡市遺跡の学び館 企画展示室（本宮字荒屋13-1 TEL019-635-6600）
- 4 関連事業 令和7年度調査成果報告会
発表者：当館職員
日 時：令和8年3月1日（日）13:30～15:30
場 所：当館研修室
報告遺跡（予定）：小山遺跡・右京長根遺跡・上米内遺跡・里館遺跡・国史跡盛岡城跡
定 員：80名（入館無料）
資料代：200円（1部）
募集方法：2月4日（水）10:00～応募フォームまたは電話にて受付（先着順）

盛岡市遺跡の学び館

〒020-0866 盛岡市本宮字荒屋13-1

TEL 019-635-6600 FAX 019-635-6605

担当：小野寺（おの寺）・今松（いままつ）・
樋下（といした）



第43回埋蔵文化財調査資料展

盛岡を発掘する

—令和7年度調査速報—

会期：令和8年2月7日(土)～5月17日(日)

会場：盛岡市遺跡の学び館 企画展示室



盛岡市遺跡の学び館
ホームページ

令和7年度 調査成果報告会

日 時：令和8年3/1(日) 13:30～15:30

会 場：当館研修室（定員80名）、資料代200円

報告遺跡：上米内遺跡、小山遺跡、右京長根遺跡、里館遺跡、国史跡 盛岡城跡（予定）

募集方法：2/4(水)10:00～応募フォームまたは電話にて受付（先着順）

【開館期間】9:00～17:00（入館は16:30まで）

【休館日】毎週月曜日（祝祭日にあたる場合は翌平日）、毎月最終火曜日

【入館料】変更になる可能性がありますので、最新の情報については当館ホームページをご覧いただき、お電話にてお問い合わせください。

【交通案内】JR 東北本線・JR 東北新幹線「盛岡駅」から車で5分、徒歩20分

東北自動車道「盛岡IC」か「盛岡南IC」から車で20分

岩手県交通バス盛南ループ「総合プール前」・「県立美術館前」バス停から徒歩7分

岩手県北バス盛岡駅西口、イオン盛岡南行き「杜の道北」バス停から徒歩9分

【お問い合わせ】〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋 13-1

TEL: 019-635-6600 FAX: 019-635-6605

盛岡市 遺跡の学び館

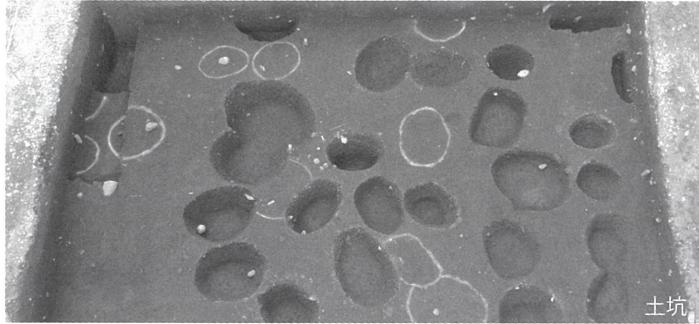


盛岡を発掘する

—令和7年度調査速報—

かみよない
上米内遺跡

第8次調査（上米内）



土坑

米内川流域の低位段丘上に位置する縄文時代の集落遺跡です。過去の調査では竪穴建物跡を90棟以上確認しています。

今回の調査では、縄文時代晚期の土坑59基と遺物包含層が見つかりました。遺物は、縄文時代晚期の土器・石器が多く出土しました。

さて
里館遺跡

第72次調査（北天昌寺町）

調査区
全景

零石川北岸の台地上に位置しています。過去の調査では、特に現在の天昌寺付近から15～16世紀の豪族の城館跡が見つかっています。

今回の調査では、中世以降のものと考えられる土坑2基と小柱穴16口が発見されました。

くにしせき もりおかじょうあと
国史跡 盛岡城跡三ノ丸地区
瓦出土状況

旧北上川と中津川の丘陵を利用して築かれた平山城で、初代盛岡藩主の南部信直と2代藩主の利直が、約40年もの歳月をかけて築いた南部氏の居城です。築城当時の石垣が良好に残されていることから、昭和12年（1937）に国指定史跡となりました。

三ノ丸地区では瓦門の内容確認調査を行い、瓦門周辺の堀に使われていたと思われる瓦が多く出土しました。本丸地区では、本丸御殿跡等の確認調査を行い、平成5年度の調査で発見された礎石を再確認したほか、新たに礎石13石を確認しました。

今年度は5遺跡の発掘調査を実施しました。

発掘調査によって明らかになった最新情報をもとに、盛岡の新たな歴史の一面をぜひご覧ください。

こやま
小山遺跡

第45次調査（東中野町）



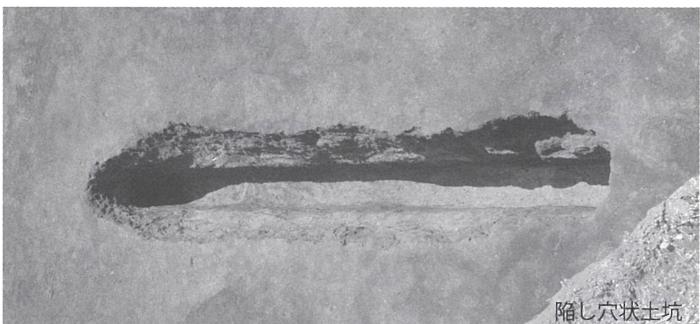
炉跡

盛岡市街地から南東に約2kmの丘陵地に立地する縄文時代の集落遺跡です。

今回の調査では竪穴建物跡2棟、土坑6基、小穴2口が見つかりました。竪穴建物跡では炉跡とみられる焼土と配石を確認しました。遺物は縄文土器、土偶、石器が出土しました。

うきょうながね
右京長根遺跡

第6次調査（緑が丘）



陥し穴状土坑

北上川東岸の丘陵に位置する縄文時代の遺跡です。これまでの調査でも縄文時代の陥し穴状土坑が数多く発見されており、狩猟の場としての利用が想定されます。

今回の調査では土坑を1基確認しました。この土坑は動物の陥し穴として利用されていたと考えられます。

第48・49次調査（内丸）

本丸地区
調査区全景